

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	ササキ ユウコ 佐々木 裕子	職名 人間学部	教授 健康栄養学科	取得学位 (大学名)	障害学博士(医博) 東北大学大学院医学系研究科 (取得年月)2005年3月
------------	-------------------	------------	--------------	---------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
① 教育内容・方法の工夫 ・国や県、企業や高校と連携した学生教育の充実 ①農林水産省(東北農政局)との連携 ②宮城県との連携 ③仙台市との連携 ④各市町との連携 ⑤企業との連携 ⑥仙台白百合学園との連携	2020～2024 年度	宮城県の委託事業として、塩エコキャンペーンを展開。スーパーや市町村の健康まつりにおいて、広く宮城県民に減塩の啓発普及を行う。特に、2017～2018 年度は富谷市、JCHO 病院、協会けんぽ、イオン富谷店と協働でキャンペーンを展開し、ゼミの学生も参加した。
	2020 年度	味の素ファンデーションと共同で「ふれあいの赤いエプロン」プロジェクトを開催し、被災地の支援活動を行った。石巻市・女川町・気仙沼市をはじめ、さらに、国立栄養研究所と共同で、宮城県丸森町の台風による被災地支援を行った。
	2021～2023 年度	宮城県の企画する「ベジプラス 100&塩エコキャンペーン」において学生に野菜のレシピを応募させ、毎年 3 名県知事より表彰を受ける。選ばれたレシピは商品化され、株式会社イオンで販売された。いずれも好評を得た。
	2024 年度	宮城県の企画する「ベジプラス 100&塩エコキャンペーン」において学生に野菜のレシピを応募させ、2024 年度は 7 品目 9 名が県知事より表彰を受ける。選ばれたレシピは商品化され、藤崎本店・ウジエスーパー系列県内 31 店舗・みやぎ生協 48 店舗・イオン系列県内 43 店舗で販売され、いずれも好評を得た。
	2024 年度	学生が考案したレシピを、セブンレブンジャパンとの共同企画において商品化した。考案されたレシピは東北のセブンイレブンで3週間販売された。
	2024 年度	仙台市が企画し、国際センターで開催したイベント「みんなで子育てフェス

・講義の工夫	2024 年度	<p>「食と健康フォーラム」に、企画段階から一緒にゼミの学生が参加し、減塩のアピールをした。当日は、仙台市長よりインタビューを受け、その様子は市政だよりに掲載され、産官学の連携のアピールになった。</p> <p>東北農政局(農林水産省)の企画事業である農業体験に 1 年生が参加し、午前は稲刈り体験。午後は環境にやさしい農業について学び、地域の人々と親交を深めた。</p>
	2024 年度	<p>学校法人仙台白百合学園と連携し、「こども食堂」を年 3 回展開した。(ゼミ学生に白百合学園出身の学生が多いことから、連携した食堂を開催するには、とてもやりやすい環境であった)</p>
	2020～2025 年度	<p>宮城県の健康栄養調査の分析結果を「公衆栄養学Ⅰ」、「公衆栄養学Ⅱ」の講義に取り入れながら、結果の解釈、栄養改善事業の計画、立案、実施、評価に至るまでの一連の流れを総合的に講義する。また、市町村の事業状況を反映した「公衆栄養学実習」になるように工夫している。</p>
	2020 年度	<p>市町村の健康増進計画や食育推進計画についても、学生に実際の作業過程を示し、学生自身が自主的に学ぶことができるように構成した。また、近年の学生の体力低下や筋肉量低下を鑑み、栄養と身体活動の演習を行い、2020 年の東京オリンピックに向けて、管理栄養士のあるべき姿を研究した。</p>
	2020～2025 年度	<p>食のグローバル化にむけて、また管理栄養士の素養を高めるため、料理そのものだけではなく、日本人が世界に誇るべき「自然を尊ぶ」という和の気質に基づいた「食」に関する「習わし」を授業内で伝えている。</p>
	2024 年度	<p>宮城県は脳血管疾患が多いことから、減塩に力をいれた授業を展開し、メディアにおいて、減塩レシピを紹介し、学生の授業にも反映させた。</p>
	2024 年度	<p>令和 6 年度宮城県県民健康栄養調査の実際について授業内で説明した。</p>

<p>② 作成した教科書、教材、参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養学実習～事例から学ぶ公衆栄養プログラムの展開～ (改訂版) ・新編 内部障害のリハビリテーション(第2版) 新編 内部障害のリハビリテーション(第3版) 新編 内部生涯のリハビリテーション(第4版) 	<p>2024年</p>	<p>新しい食事摂取基準に基づいた改訂版を作成。</p> <p>糖尿病の栄養指導を加筆した。</p>
---	--------------	--

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動

著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
<p>[著書]</p> <p>新編 内部障害のリハビリテーション(第3版)</p>	共著	2020年6月	医歯薬出版株式会社	上月正博 佐々木裕子, 他21名		p295-299 p313-316 p325-328
<p>食育ハンドブック</p>		2021年9月 2022年9月 2023年9月 2024年9月	宮城県・エフエム仙台	佐々木裕子		p107-109
<p>新編 内部障害のリハビリテーション(改訂版)</p>		2025年1月	医歯薬出版株式会社	上月正博 佐々木裕子, 他21名		P309-321
<p>[論文]</p> <p>運動中のマスク着用が引き起こす「身体的・心理的 ストレス増強」の医学的・栄養学的評価</p>		2021年10月	公衆衛生情報みやぎ10月号	Sasaki Yuko, Katumasa kawahara		p26-28
<p>コロナ禍におけるマスク着用運動の安全性: 不織布 マスク着用ー運動が「心機能」と「身体的・心理的ス トレス値」に与える影響の評価</p>		2022年10月	公衆衛生情報みやぎ10月号	Sasaki Yuko, Katumasa kawahara		p41-43

地域の食文化と健全な食生活を支える日本の食育	2024年5月	第10回日本栄養改善学会東北支部学術総会	佐々木裕子	p131-136
日本人の食事摂取基準2025の改定ポイントについて	2024年11月	JHCO 地域医療総合医学会	佐々木裕子	
東日本大震災時の栄養 ～宮城県と女川町における震災当時の栄養状態～	2025年1月	Trends of Nutrition 栄養 株式会社ジェフコーポレーション	佐々木裕子	p33-38
大学生の食生活実態調査に見られた米離れについて	2025年3月	仙台白百合女子大学人間学 研究センター紀要	佐々木裕子	
[報告書] 第4次宮城県食育推進計画	2024年3月	宮城県報告書	宮城県健康推進課	
第2次大崎市総合計画(後期計画)	2022年3月	大崎市総合計画報告書	大崎市政策課	
第2次石巻健康増進計画改訂版	2023年3月	石巻市健康増進計画報告書	石巻市健康推進課	
第2次大崎市健康増進計画後期計画	2024年3月	大崎市健康増進計画報告書 大崎市健康推進課報告書	大崎市健康推進課	
第2次大崎市食育推進計画改訂版	2022年3月	大崎市世界農業遺産推進室 報告書	大崎市世界農業遺産推進室	
第3次みやぎ21健康プラン				

第4期塩竈市食育推進計画		2024年3月 2024年3月	宮城県健康推進課報告書 宮城県塩竈市報告書	大崎市 塩竈市		
--------------	--	--------------------	--------------------------	------------	--	--

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
内部障害ハイリスク健診者における栄養指導の有効性	2020.2	第10回腎臓リハビリテーション学会学術集会(東京)
内部障害ハイリスク健診者の保健指導	2020.2	腎と脂質研究会(仙台)
不織布マスク着用とエアロバイク運動：ストレススコア(SS)の解析	2021.3	第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会
運動中のマスク着用が引き起こす「身体的・心理的ストレス増強」の栄養学的評価	2022.8	宮城県公衆衛生学会
Development of nutritional assistance tools for the relief supplies systems at each stage after a disaster	2022.8	日本災害食学会(東京)
地域の食文化と健全な食生活を支える日本の食育	2024.5	第10回日本栄養改善学会東北支部学術総会

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本栄養改善学会	日本栄養改善学会評議員(平成20年～22年)	平成10年4月(1998年)
日本栄養士会		平成10年4月(1998年)
宮城県公衆衛生学会		平成10年4月(1998年)

日本公衆衛生学会 日本病態栄養学会 日本高血圧学会 日本腎臓学会 学校保健学会 日本心臓リハビリテーション医学会 日本糖尿病学会 日本腎臓リハビリテーション医学会	日本病態栄養学会評議員(平成 23 年～現在) 理事(平成 31 年～現在)	平成 11 年 4 月(1999 年) 平成 15 年 4 月(2003 年) 平成 15 年 4 月(2003 年) 平成 15 年 4 月(2003 年) 平成 16 年 4 月(2004 年) 平成 20 年 4 月(2008 年) 平成 25 年 4 月(2013 年) 平成 31 年 1 月(2019 年)
--	---	--

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去 5 年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
仙台市	2020 年度		いずみ絆プロジェクト	100000
仙台市	2021 年度		いずみ絆プロジェクト	100000
仙台市	2022 年度		いずみ絆プロジェクト	100000
宮城県	2023 年度		宮城県県民健康栄養調査委託費	2000000
宮城県	2023 年度		みやぎ県民大学助成金	50000
宮城県	2024 年度		宮城県県民健康・栄養調査(業務委託)	1035980

3. 特記事項

宮城県食育推進会議委員(会長) 「みやぎ21健康プラン」有職者ワーキング委員 「みやぎ21健康プラン」評価ワーキング委員 石巻市健康増進計画策定委員, 計画推進アドバイザー

加美町食育推進会議委員(会長)
女川町食育推進会議委員(会長)
広域石巻圏地域エコチル調査運営協議会委員
大崎市総合計画審議員
加美町健康増進計画アドバイザー
大崎市健康増進計画推進員(会長)
宮城県栄養士会会長賞受賞
日本栄養士会会長賞受賞
栄養関係功労者厚生労働大臣表彰(厚生労働省)
町政功労者表彰(女川町)